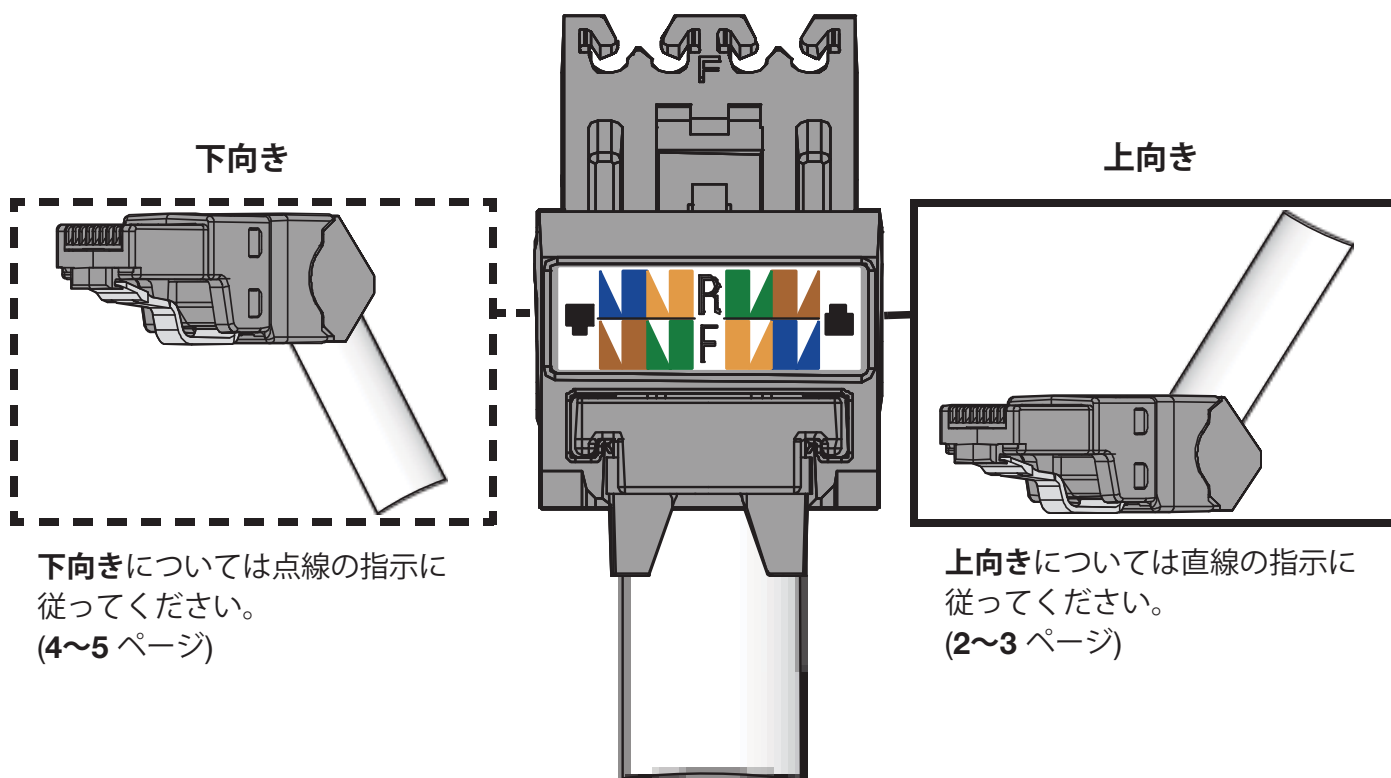
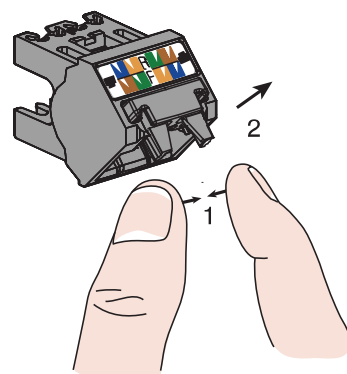
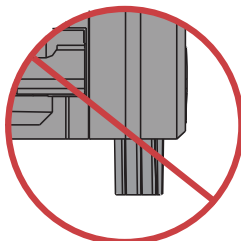
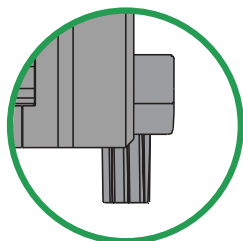


ラベルについて

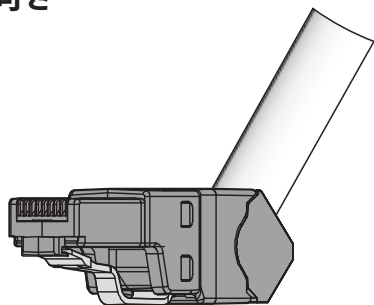
重要：キャップを配線する前に、ケーブル方向を決めてください。プラグに対するキャップの向きは、成端全体を通して一貫させる必要があります。



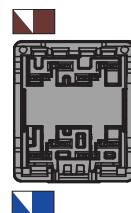
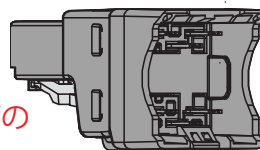
重要：
ケーブルを挿入する前にストレーンリリーフが完全に引っ込んでいることを確認してください。



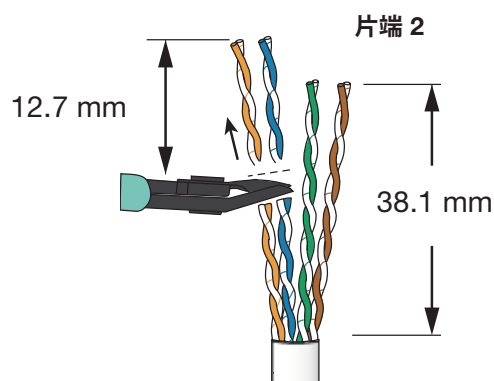
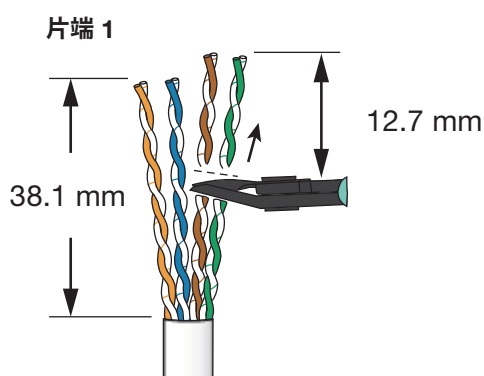
上向き

**重要**

茶/白および青/白の
ワイヤーペアは、
常に プラグハウジングの
図で示す位置に
接続します。

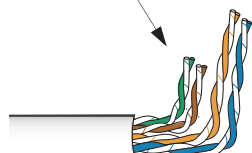


1

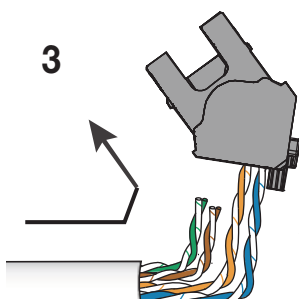


ペア線の入れ替えを
しない。

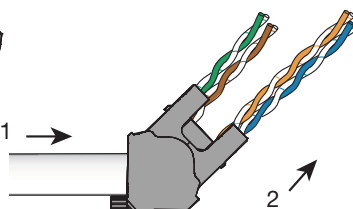
2 導線をキャップに
挿入しやすい
角度にする



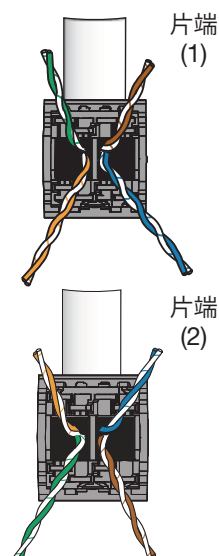
3



4

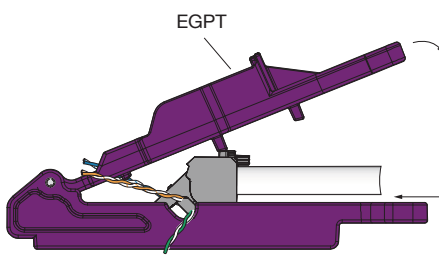
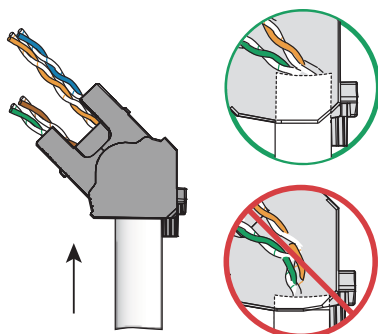


成端: 片端 1

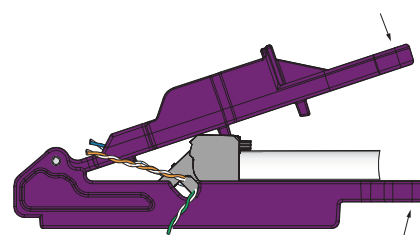


5

ケーブルがワイヤーキャップ内に完全に
挿入されていることを確認する

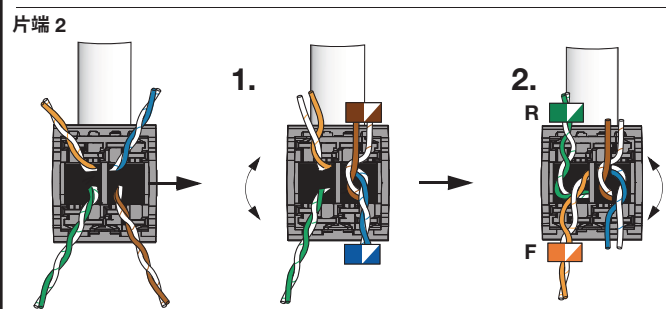
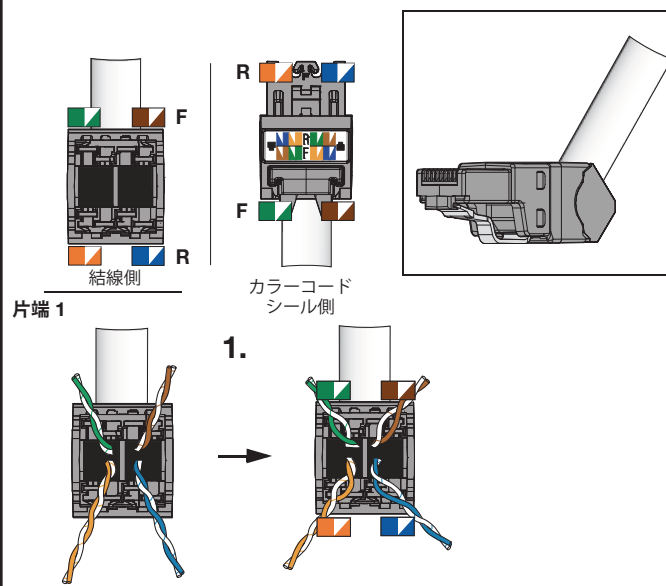


成端: 片端 1



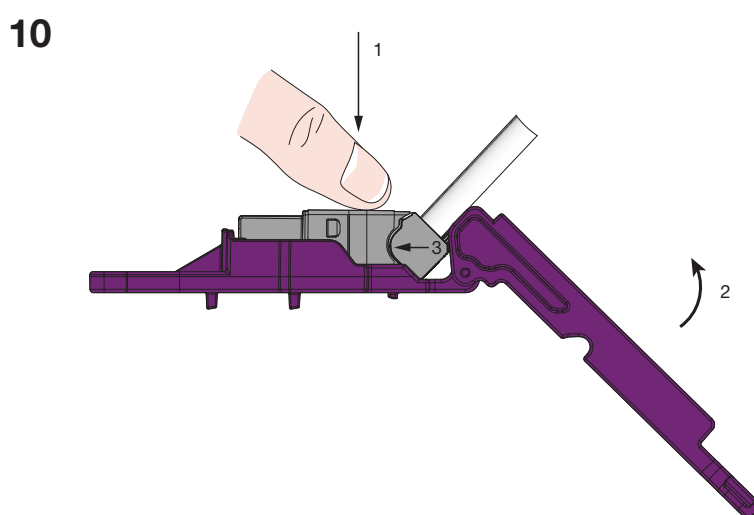
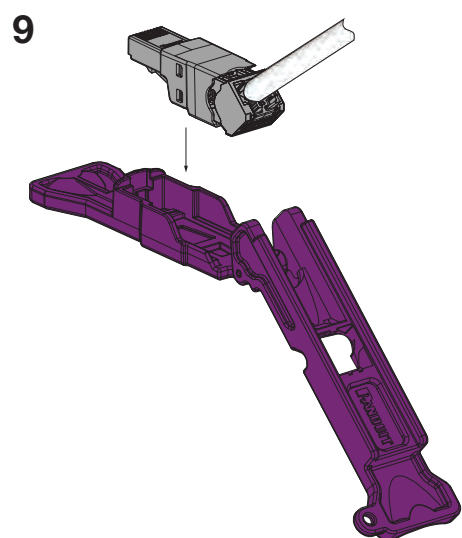
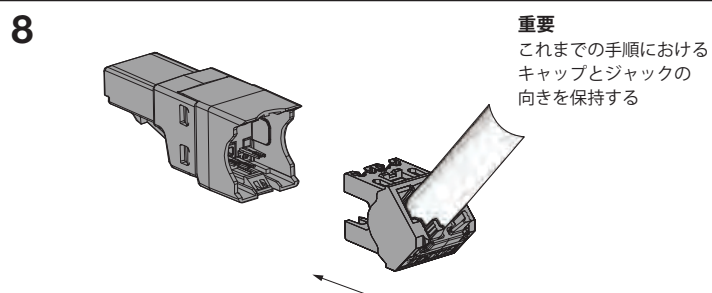
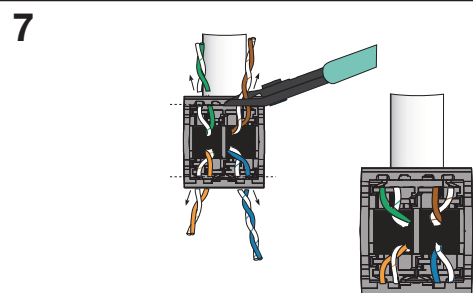
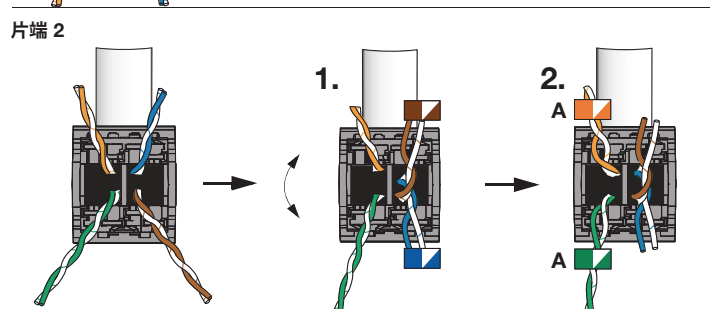
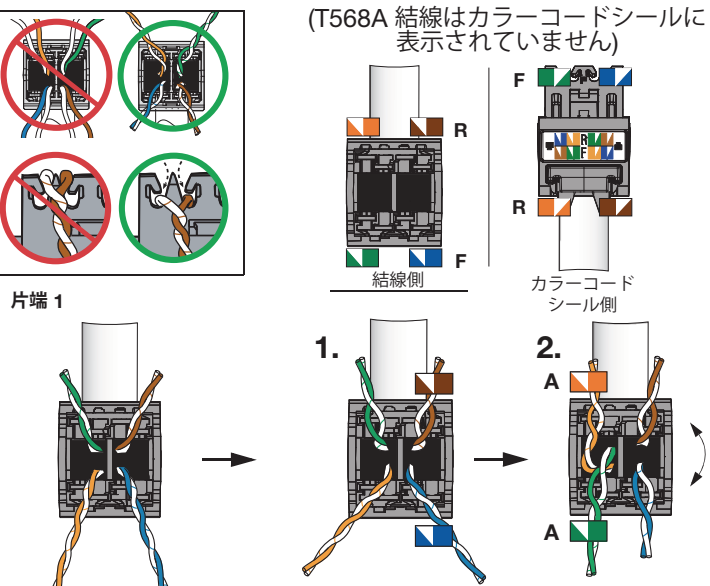
上向き

6 T568B

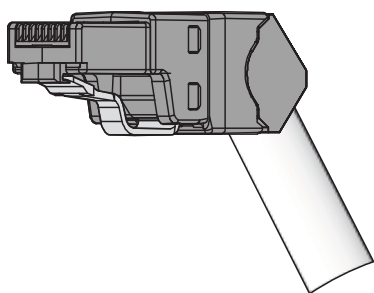


T568A

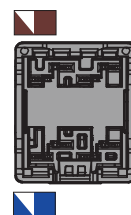
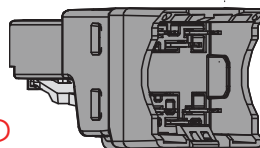
(T568A 結線はカラーコードシールに表示されていません)



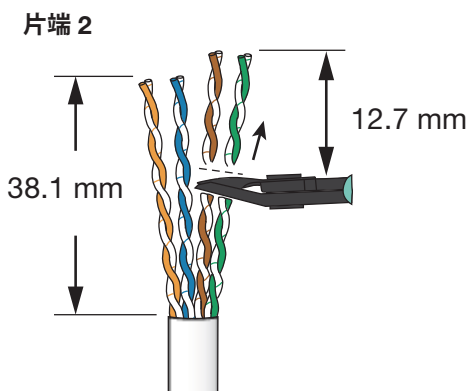
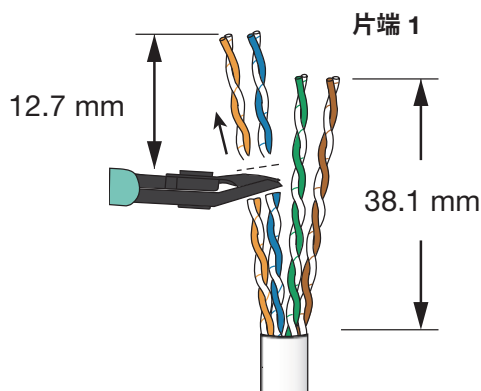
下向き

**重要**

茶/白および青/白の
ワイヤーペアは、
常に プラグハウジングの
図で示す位置に
接続します。



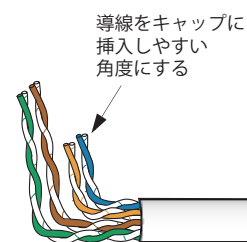
1



2

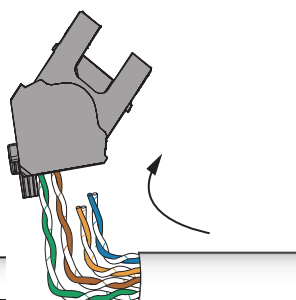


ペア線の入れ替えを
しない。



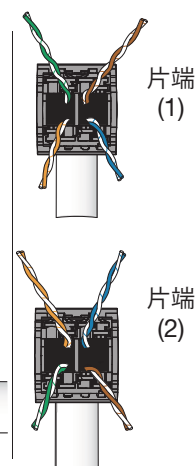
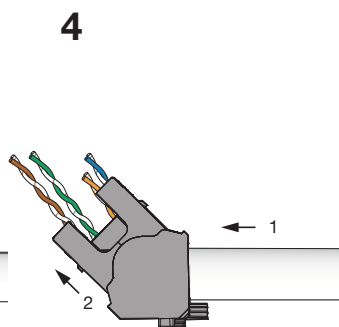
導線をキャップに
挿入しやすい
角度にする

3



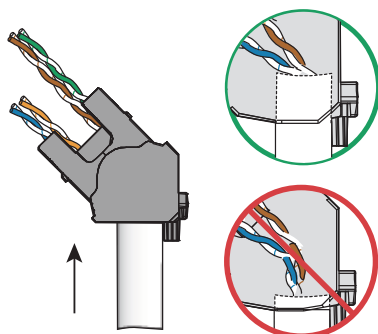
成端：片端1

4

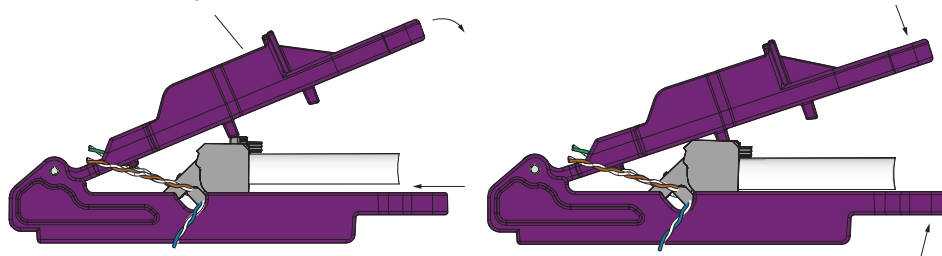


5

ケーブルがワイヤーキャップ内に完全に
挿入されていることを確認する



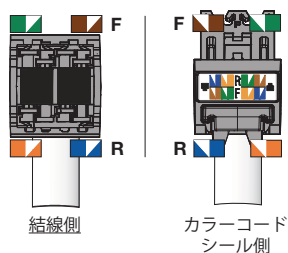
EGPT



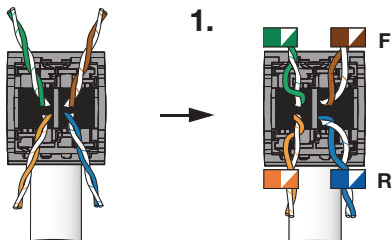
成端：片端 1

下向き

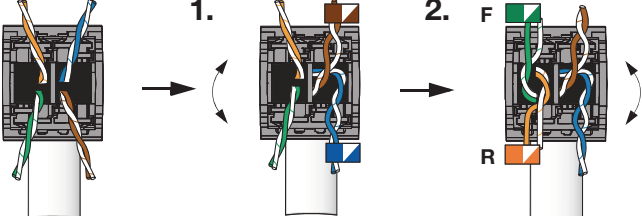
6 T568B



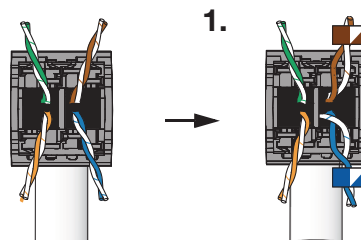
片端 1



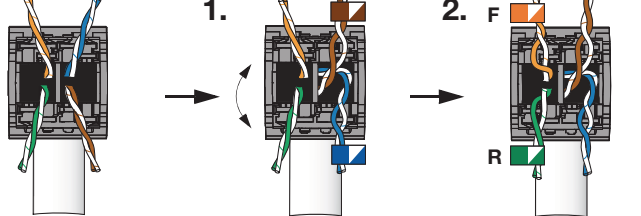
片端 2



片端 1

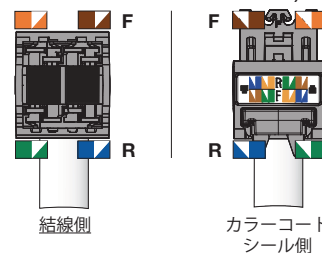


片端 2

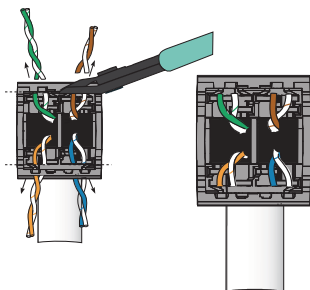


T568A

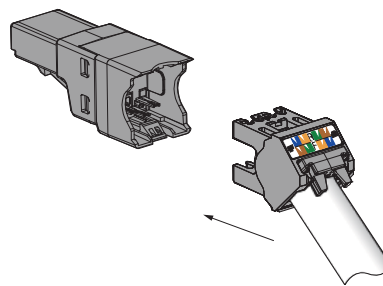
(T568A 結線はカラーコードシールに表示されていません)



7

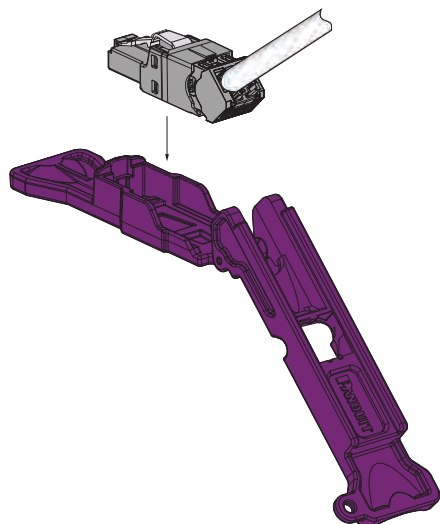


8

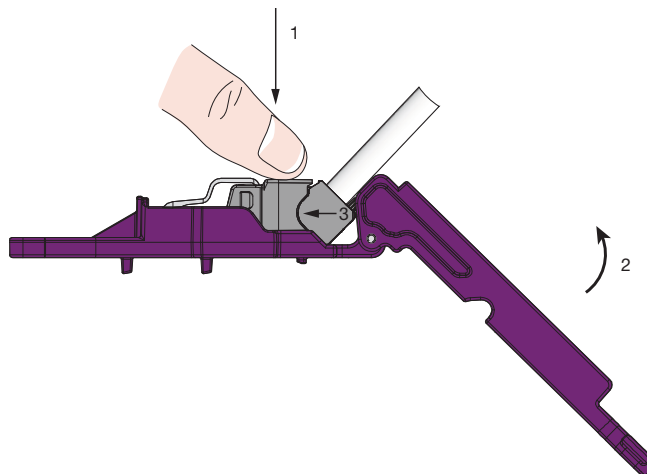


重要
これまでの手順における
キャップとジャックの
向きを保持する

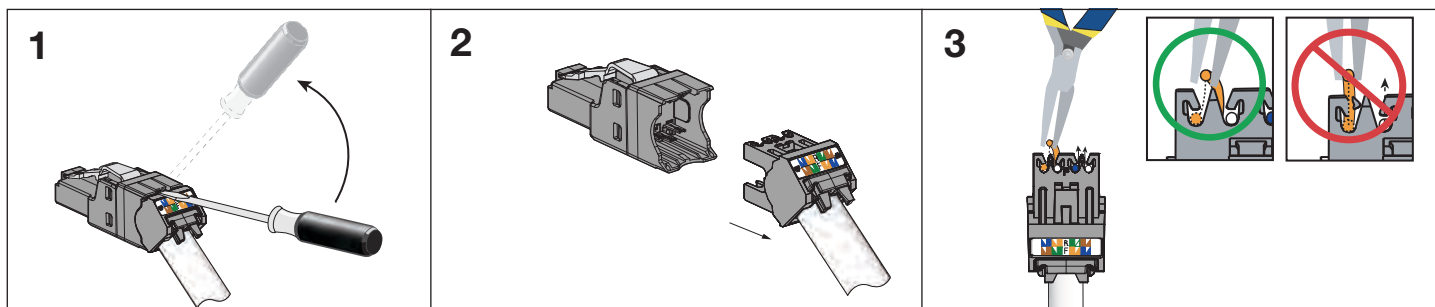
9



10



取り外し手順



注意事項:

- 仕様性能を十分に満たすために、TIA/EIA 568-C 施工ガイドラインに沿った施工を行ってください。
- ジャック成端には導体絶縁径が 1.57 mm までの 22 ~ 26 AWG 単線を使用できます。
- 最大 20 回の再成端が可能です。
- 技術情報と性能情報については、パンドウイトのカスタマーサービスまでお問い合わせください。

全てのワイヤリングアクセサリと同様に、下記の概念に従ってください。

- 雷や嵐の中では通信ケーブルの施工は行わない。
- 特に水場で使用できるように設計されたジャックを除き、濡れた場所での通信ケーブルの施工は行わない。
- 通信ラインがネットワークインターフェースから切り離されている時以外は、導線や端子を手で触れない。
- 通信ケーブルの施工や修理の際には警告文をよく読み、行ってください。